

やましたしんや  
山下真矢さん

JICA 海外協力隊 2008 年度 3 次隊

派遣国：バヌアツ 職種：小学校教諭

2021 年 9 月 5 日（日）中国新聞 SELECT 掲載



※中国新聞社の許諾を得ています

## 生きる力 遊びで育てる

2009 年に国際協力機構（JICA）海外協力隊員としてバヌアツに派遣され、エラコール村エラコール小学校で主に図工、音楽を担当した。学校の目の前には海が広がっていて、放課後には子どもたちと海で遊び、休日にはたくさんの村を巡る旅に出かけた。

その中で印象に残っているのは、大きな子が見守る中、2、3 歳ぐらいの小さな子どもが包丁を持ってマンゴーを切って遊んでいたことだった。

研がれた包丁ではないものの、子供たちは遊びを通して生きていく上で大切なことを自然と学んでいるのだと感じた。人が生きていく上で必要である火や刃物を使うことを、危ないからと遠ざけるのではなく、小さな時から一つずつ身をもって正しく学んでいくことが大切なのだ実感した。

また、子どもたちは生活の中にあるものや自然のものを使って遊ぶことで五感を育てながら全身が鍛えられていた。そんな子どもたちは、豊かな生き方を教えてくれた私の先生だった。

帰国して 8 年後、広島県北広島町吉木に「森のようちえん たねまき」「空手教室」「学習塾」をスタート。森のようちえんの活動ではバヌアツで学んだことを生かし、毎週のみそ汁作りや調理、工作といった火や刃物を扱う活動を通して子どもたちの生きる力を育てている。未来に向かう子どもたちがどんな時でも、どこに行っても、自分らしく力強く楽しく生きていけることを願いながら活動している。



図工の授業で作った紙相撲を楽しむ子どもたち